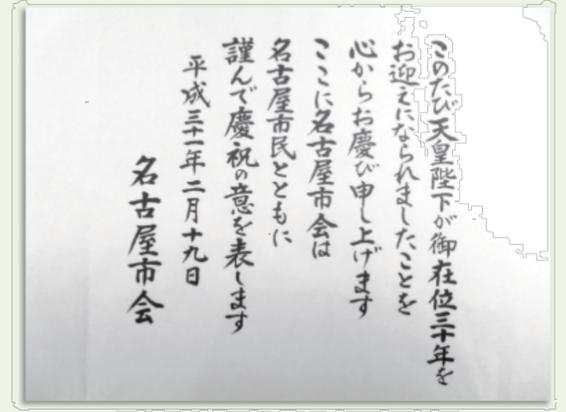


「天皇陛下御在位30年に当たり慶賀の意を表する件」などの議員提出議案を可決

■以下の議員提出議案は、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。

- 天皇陛下御在位30年に当たり慶賀の意を表する件**
天皇陛下御在位30年に当たり慶賀の意を表するため、天皇陛下に対して賀詞を奉呈するものです。
- 農協改革について慎重な検討を求める意見書**
今後の農協改革について、農業協同組合の組合員の判断に基づく自己改革の内容を尊重し、慎重な検討を行うよう強く要望するものです。
- 商店街の振興に関する意見書**
地域コミュニティを担う商店街の振興のため、商店街の活動を支援する事業の拡充強化を図るよう強く要望するものです。
- 放課後児童支援員等処遇改善等事業の活用促進に関する意見書**
放課後児童支援員等処遇改善等事業の活用をより一層促進するため、補助条件を緩和するよう強く要望するものです。
- 食品ロス削減に向けたさらなる取り組みの推進に関する意見書**
多様な主体が連携し、食品ロスの削減を総合的に推進するため、法律の制定を含めたより一層の取り組みを実施することなどを強く要望するものです。
- 妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書**
妊婦が安心して外来診療を受けられるよう、医師に対する適切な情報提供に努めるとともに、研修体制の充実を図ることなどを強く要望するものです。
- 失われた名古屋市の信頼を回復させるため浅井康正議員に対し猛省を求める決議**
名古屋市会では、平成30年6月定例会以降、毎定例会において、ブロック塀に関する審議を行っていたにもかかわらず、浅井康正議員が昨年8月から法令違反となるブロック塀をみずから設置していたことなどの問題を受けて、11月定例会から継続して議会運営委員会などで協議を行ってきました。
2月定例会では、市民に対し、危険なブロック塀の撤去を周知・啓発していくべき立場にある議員が行った今回の行為は、議員としての資質が疑われる恥ずべき行為であり、名古屋市会全体への市民の信頼を大きく失墜させるものであることから、議会運営委員全員の発議により、浅井康正議員に対し、このような恥ずべき行為を行った責任を重く受け止め、猛省を強く求める決議を全会一致により原案どおり可決しました。



天皇陛下御在位30年に当たり、上記の賀詞を奉呈

→ 決議・意見書の全文は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)でご覧いただけます。

3月11日(月)に開会した議員総会



東日本大震災より8年を経過した3月11日に議員総会を開会し、発災時刻である午後2時46分に議場内の全員で黙とうをささげました。

「名古屋市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正について」などを審議

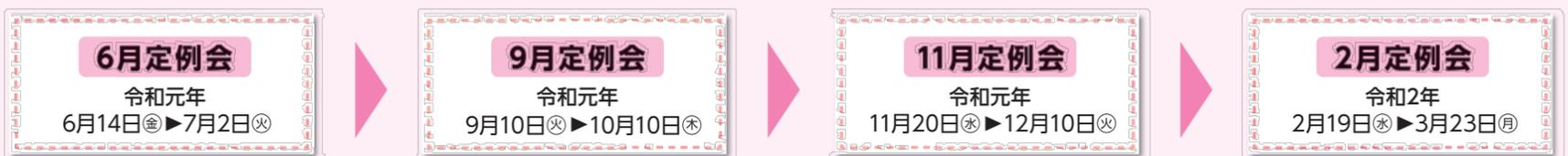
- 「名古屋市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正について」(自由民主党・名古屋民主・公明党提案)は、賛成多数により原案どおり可決しました。
○議員報酬について、市長に対し第三者機関である名古屋市特別職報酬等審議会への適切な諮問を求めてきましたが、現在に至るまで適切な諮問と答申による議員報酬のあるべき額は明らかになっていません。そこで本条例は、平成31年3月31日をもって議員報酬の特例期限が切れることから、引き続き市長に対して、名古屋市特別職報酬等審議会への適切な諮問を求めていくとともに、全国の政令指定都市中最大の15%削減を定める特例期間を平成35年3月31日までに改めるものです。
- 「名古屋市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について」(日本共産党提案)は、「名古屋市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正について」を可決したことにより議決不要と決定しました。
○議員報酬について、現行の特例期限が切れる平成31年4月1日から平成32年3月31日までの1年間の議員報酬を年800万円に戻し、平成32年4月1日以降の議員報酬の額(特例値)について、市民参加の検討会議(第三者機関)で検討するものです。
- 「名古屋市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について」(市長提案)は、賛成少数により否決しました。
○議員報酬の制度値を年800万円に改めるものです。
○本件については、総務環境委員会において慎重に審査を進めたところ、自由民主党から、議員報酬の制度値については、名古屋市特別職報酬等審議会において、あるべき額について議論いただいた上で、議会に提案するべきものであるとの理由により反対であるとの意見表明がなされ、名古屋民主及び公明党から、反対であるとの意見表明がなされ、日本共産党から、「政治ボランティア」を議会に押し付ける800万円恒久化には賛同できないとの理由により反対であるとの意見表明がなされ、3月15日の本会議において、採決を行った結果、賛成少数により否決しました。



※上記3件について、本会議での採決に先立ち、日本共産党と減税日本ナゴヤから以下の立場で討論が行われました。

日本共産党	賛成…日本共産党提案	減税日本ナゴヤ	賛成…市長提案
	反対…自由民主党・名古屋民主・公明党提案、市長提案		反対…自由民主党・名古屋民主・公明党提案、日本共産党提案

今後の定例会の予定



ぜひ傍聴にお越しいただくか、インターネット中継をご覧ください。(なお、この予定は変更されることがあります。)

編集後記



編集委員長: 齊藤たかお議員(中央)
 編集委員:
 橋本ひろき議員(左から二番目)
 鹿島としあき議員(右から二番目)
 田辺雄一議員(一番左)
 さいとう愛子議員(一番右)

議会改革の一環として、市民の皆様にご覧いただける見やすく、わかりやすい形で市会の情報をお伝えできるような紙面づくりに取り組んでまいります。
 これからも市会だよりをご覧くださいませよう、どうぞよろしくお願いいたします。
 編集委員一同

※名古屋市会では、平成23年度から、市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をしていますが、残念ながら、河村市長から「回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある」として、毎月発行化は認められていません。よって、今年度も現時点では年7回の発行を予定しています。